

2026年度 看護部教育計画(看護実務領域 No2)

領域	コース	対象	目的	目標	方法	時間
看護実践における教育	看護過程	レベルⅠ	1. 看護記録の基礎知識を理解する	①看護過程を理解し、看護記録が書くことができる	講義	60分
				①入退院支援について理解が出来る	講義	60分
			1. 退院支援に必要な基礎知識が理解出来る	①退院支援に必要な情報収集、意思決定支援について理解できる ②退院支援に必要な療養指導、自立支援、社会資源について理解出来る	講義	120分
			1. 看護を振り返り、今後の課題を見出すことが出来る	①事例を通して看護過程の展開ができる	症例発表	90分
	人間関係	レベルⅠ	1. 自己啓発	①新人同士で自分の思いや考えを説明できる	GW	120分
				①お互いの現状を共有できる ②新人同士で自分の思いや考えを説明できる	GW	110分
				①グループワークを通して、お互いの現状を共有する ②今後の学習・現場での課題を見出す	GW	50分
	コミュニケーション	レベルⅡ	1. 組織の一員としての責任ある行動ができる 2. 看護職としての倫理的態度を身につける	①自分を知ると共にアサーティブコミュニケーション技術を習得する ②パートナーシップマインドについて理解する ③看護者の倫理綱領を理解する ④実践の場で看護倫理を考え、行動することができる	講義 GW	150分
					講義 GW	150分
					GW	120分
					発表	60分
	スキントア	レベルⅡ以上	1. スキンテアの対応と予防について知識を深めることが出来る 2. 患者の皮膚の状態に応じた予防ケアや処置を習得できる	①スキントア予防のためのケアができる ②スキントア発生時の処置対応が実施できる	講義 演習	90分
	身体的拘束最小化の取り組み	レベルⅡ以上	1. 認知症について理解を深める 2. 身体的拘束最小化の取り組みについての知識を深めることが出来る	①認知症について理解を深める ②身体的拘束最小化の取り組みについての知識を学び、臨床現場での身体的拘束の最小化に努める	講義 演習	90分
救急蘇生	全員	1.突然の心肺停止に対する最初の10分間の適切なチーム蘇生ができる	①蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる ②BLSを行うことができ、AEDを安全に操作できる	演習	30分	
看護助手	看護助手	1. 介護職員の質の向上 2. 誠意を持って介護にあたる看護補助者を育成する	①看護部組織を理解する ②組織陣としてのコミュニケーションを学び、実践に活かす事ができる ③蘇生術を学び知識を習得できる ④看護補助者業務における医療安全を理解する ⑤看護補助者業務における感染対策を理解する	講義 演習	60分	